

被災地で活躍する看護師・介護士（宮城県石巻市）

4月9～12日まで東日本大震災で大きな被害を受けた地域の一つ 宮城県の避難所でボランティア活動をされている「全国訪問ボランティアナースの会 キャンナス」に同行させていただきました。当会は 看護師の資格を持ちながら 結婚や出産など様々な理由で退職した潜在看護師が介護保険制度では 対応しきれない部分をサポートしているボランティア団体です。在宅医療の医師とも強いネットワークをもち 今回の東日本大震災で被災した方々を医療・看護・介護の面からサポートするために、いち早く被災地へとかけつけました。現在宮城県石巻市（中央公民館・湊中学校）気仙沼市（市民会館）の避難所でボランティア活動をしています。今回 石巻市の2か所の避難所へ同行させていただきました。

【石巻市中央公民館】148名（4月11日現在）が避難しています。看護師・介護士を中心に管理栄養士・理学療法士など様々な有資格者の方が1Fの警備室を詰所として 24時間泊まり込みで避難されている方たちの健康・衛生・生活全般をケアしています。現地での日々の状況は刻々と変わります。どんなことにも ボランティアの皆さんは動くことなく瞬時の判断 臨機応変な対応 軽いフットワークで 限られた環境下で様々な工夫をこらしていました。

●避難されている方の健康状態を把握するために簡易カルテを作成…避難されている方の状況把握のために 1F和室 2F大ホール 3F（第1講座室・第2講座室・クラブ室）毎にファイルが作成されていました。ファイルにはどの避難者がどの場所にいるのかがわかるように配置図と健康状態に不安がある方のために 石巻市の保健師から支給された「要介護健康相談票」をもとにアレ



【中央公民館の臨時訪問看護 ST】ンジした簡易カルテがつづられていました。個々の情報が一目瞭然 情報共有にも役立っているようでした。
●業務の標準化—ボランティアメンバーが変わっても情報が共有できるように活動記録を作成…ボランティアメンバーは 日々入れ替わります。そこでリーダーの提案で活動記録が作成されました。その日の被災者の人数 往診に来た医師の名前 1日の看護・介護のケア記録（VS 洗髪 清拭 更衣 投薬等 項目を○で囲む）その他（ケアのほかに行ったこと等）特記（避難所から移動した方 救急搬送等）相談（相談事項とその対応について）の項目について 日々記録するようになっておりボランティアメンバーが変わっても 活動記録を見ることによって 継続的なケアができる重要な情報源です。

●ローラー作戦で地域の住民の状況を把握…石巻市災害対策本部からの依頼で医師とキャンナスの看護師が2人1組で地域の家を1件1件回り 家屋の状況や健康などについて情報収集を行っていました。劣悪な道路状況の中 歩いて各戸を回るのは体力的にも精神的にも大変なことだと思います。しかし 看護師は 少しの疲れも見せず生き生きとして避難所へ戻ってきました。その時の表情がとても清々しく頼もしいものを感じました。避難されている方々にお話をうかがうと みなさんから聞かれる声はボランティアに対する感謝の言葉でした。家をすべて流されてしまったという 高齢の女性は「ボランティアといっても 看護師の方が来てくれたので本当に安心です。ありがたいことです」と笑顔でお話ししてくださいました。

【石巻市湊中学校】…約280名の方が避難しています。今回の津波の被害は市内あちこちで見られる坂の上と坂の下では雲泥の差があります。上の地域は 倒壊した建物などは見られませんでした。下の地域は目を覆いたくなるような 一瞬テロ武装地域かと思えるような光景が広がっています。湊中学校はこの下の地域に位置しています。



【市内いたるところに散在する車】

http://www.nurse.gr.jp/index.html の「キャンナスブログ」で公開されています。今回同行させていただき ボランティアに携わる キャンナスメンバーの底力を思い知らされました。今月いっぱいでの被災地に入っている団体は撤退するところもあるようです。キャンナスでは 長期的に継続できるボランティア活動を視野に入れています。活動を続けていくためには 活動資金の調達も大きな課題です。長期的に活動を続けていくことができるように 皆様からの暖かいご支援をどうかよろしくお願ひします。

（記：株式会社ウエルビー 亀井恵美子）